

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105578
法人名	医療法人かざはやくリニック
事業所名	グループホームかざはや
所在地	松山市中西内469番地
自己評価作成日	平成21年12月26日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年1月15日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

Dr. 施設長を始め、スタッフは全員、利用者様が楽しく暮らし易い様子を目標に、その人らしく、最後までホームで過ごして頂ける様、日々努力している。母体が医療機関と言う事もあり、病気や急変時にも速やかに対応でき、安心して過ごして頂ける。また、9名定員と言う規模を活かして、柔軟な対応、小回りのきくホームである。現状に満足せず、日々進化を続けていっています。

高齢者クラブの行事に、事業所の観月祭も入っていて、毎年交流がある。地域の秋祭りには、事業所の駐車場でおみこしや獅子舞を見せてくださり、利用者の中には、おみこしに手を合わせる方もおられた。近くの神社で催し物があつた際に、利用者は高齢者クラブの一員として、職員と一緒にコーラスに参加された。又、神社の草引きや掃除等も地域の方とともに行っておられる。

事業所では「夏は利用者が早く起きられるので、早出職員の出勤時間を30分早めてはどうか」との意見が職員から出て「サマータイム」を導入された。昨年末には、職員からの要望もあり、利用者の病気のことや薬の副作用等について、医師である代表者による勉強会が行われた。今後も、ミーティング時、代表者による勉強会を行うことを予定されていた。事業所では、「利用者と過ごす時間を増やす」ことを目指して職員と話し合いながら、業務内容を見直されており、日誌や記録の書き方等も検討された。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームかざはや

(ユニット名) かざはや

記入者(管理者)

氏名 西元 静香

評価完了日 21 年 12 月 26 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 明るく挨拶、地域の一員。共に支え合い、生き生きとしたホーム。(第11回の運営推進会議の場で決定) 散歩や、行事等スタッフも、利用者の方も笑顔で挨拶が出来ている。 (外部評価) 事業所開設時「安心と信頼 自分らしく 穏やかな暮らし 皆と一緒に 楽しい毎日を！」と理念を作成し、H21年9月に職員が集まり、BS法で10項目の行動指針を作成された。又、地域密着型サービスとしての理念として「明るく挨拶、地域の一員。共に支え合い、生き生きとしたホーム」と掲げて取り組みをすすめておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の行事(盆踊り・夏祭り)に継続してスタッフが参加している事により、地域高齢者クラブ様より、コーラスのメンバーへの参加のお誘いがあり、利用者様、スタッフは夜間の練習にも参加した。また、ホームの行事へお誘いに高齢者クラブの方々や、近隣の住民の方々の参加を頂き、楽しいひと時を持っている。「まもるくんの家」活動では、朝・夕の登下校時の見守りに、通学路に立っている。 (外部評価) 10月に行った観月会には、民生委員等、地域の多くの方が参加されている。高齢者クラブの行事に、事業所の観月祭も入っていて、毎年交流がある。地域の秋祭りには、事業所の駐車場でおみこしや獅子舞を見せてくださり、利用者の中には、おみこしに手を合わせる方もおられた。近くの神社で催し物があった際に、利用者は高齢者クラブの一員として、職員と一緒にコーラスに参加された。又、神社の草引きや掃除等も地域の方とともに行っておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で、各研修報告や、第18回には、「認知症とは？認知症を学ぶ」及び「有料老人ホームの選び方」などの資料を配布し講習をした。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 利用者様、ご家族様にも交代で参加して頂き、思いを拝聴すると共に、毎回ホームでの行事等も報告している。そこで頂いたご意見などありがたく参考にさせて頂き、サービス向上につなげている。また、第21回では「かざはや向上計画」という議題で、ホームでの新たな取り組みや、スタッフの思い等もお伝えできた。</p> <p>(外部評価) 地区の区長の方や民生委員、高齢者クラブの方等にも出席をいただき、会議を開催されている。「日頃、利用者がどんな食事をしているか」知っていただくために、会議時に昼食の試食をしていただいた。地域の方から「家ではこんなに手の込んだものは食べられない。美味しいです。」等の感想をいただいた。救急法や認知症について等、職員が外部研修等で学んだことを発表されることもある。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 県社協が実施する研修「マンスリー講座」へ毎回スタッフを参加させて頂き、顔なじみになる事により、相談や質問などがし易くなった。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、意見交換を行った際、市の担当者から「スタッフ全員で考えるという取り組みはこの事業所のいいところですね」と感想をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束は行っていない。スタッフも身体拘束禁止や、弊害について理解している。また、玄関の鍵は掛けておらず、天候の良い時には、扉も開放している。</p> <p>(外部評価) 事業所は、建物の2階にあり、階段やエレベーターを使って上がり降りするようになっている。エレベーターに乗って一人で降りられる方には、職員がそっと付き添い、タイミングを見てホームに戻って来られるように支援されている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 現在は、見られていない。精神的や言葉での虐待がある事もミーティングで話し合う機会を持っている。また、今後の取り組みとして、高齢者虐待防止教育システムの資料による、職場内研修を予定している。(認知症介護研究・研修仙台センター資料)	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 意識統一のマニュアルのファイルに資料を綴じ、いつでも見られる様にしている。現在、利用者はいない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情申し立ての窓口や、ご意見箱を設置している事を、ご案内し、面会や、来所の機会にご意見、ご要望を直接お伺いしたり、毎月のお便りにも、いつでも、お気軽にお申し出下さるよう、ご案内している。 (外部評価) 年4回、季節ごとに併設デイサービスと合同で「かざはや通信」を発行し、ご家族に送付されており、事業所での行事時の写真を多く載せて利用者の日々の表情等も伝わるようにされている。又、昨年3月からは、ご本人の写真と日頃の様子のお手紙を付けた個別のお便りをご家族に送付されている。観月会時には、朝からいもたきの準備を下さるご家族もあり、全員のご家族が集い交流されている。面会に来られた方やいただいたもの、その時の様子等をご家族の来訪時に伝えるようにされている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者は、常に利用者様、スタッフの立場に立って考えて下さり、自由に意見が述べられる環境である。また、管理者も平等に意見を聞く等、努力は惜しまない。	
			(外部評価) 事業所では「夏は利用者が早く起きられるので、早出職員の出勤時間を30分早めてはどうか」との意見が職員から出て「サマータイム」を導入された。昨年末には、職員からの要望もあり、利用者の病気のことや薬の副作用等について、医師である代表者による勉強会が行われた。今後も、ミーティング時、代表者による勉強会を行うことを予定されていた。事業所では、「利用者と過ごす時間を増やす」ことを目指して職員と話し合いながら、業務内容を見直されており、日誌や記録の書き方等も検討された。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者は、ほぼ毎日ホームに来て、管理者、スタッフの勤務状況を把握し、個々の体調や、精神面のフォローをして下さっている。また、業務に応じた時間外手当の支給や、年1回の昇給、他にスタッフの誕生会や慰労会を実施して下さり、遣り甲斐がある。	
			(外部評価) 内外への研修への参加を、快く行かせて下さり、参加費用や、交通費などの支給もある。また、各種資格取得への協力・理解もあり、資格試験費用も事業者が負担してくれる。等、資質向上に力を入れて下さる。また、Drも協力を惜しまれず、スタッフの要望にも快く応じて下さり、ミーティング等での、研修も行って下さる。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内外への研修への参加を、快く行かせて下さり、参加費用や、交通費などの支給もある。また、各種資格取得への協力・理解もあり、資格試験費用も事業者が負担してくれる。等、資質向上に力を入れて下さる。また、Drも協力を惜しまれず、スタッフの要望にも快く応じて下さり、ミーティング等での、研修も行って下さる。	
			(外部評価) 地元でのサービス調整会議への参加や、地域密着型連絡協議会等への参加で、他のグループホームやその他の施設との交流が持て、意見交換ができる様になっている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 必ず、ご利用者ご本人と面接し、状態を拝見すると共に、お話しをうかがうようにしている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族の思いや、置かれている状況、困り事を安心して相談して頂ける様に、声掛けやコミュニケーションに努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>状況により、必要に応じたサービスの提供や、ご紹介を行っている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様の得意な分野を把握し、ご本人が生き生きと活躍できる場を提供している。また、一緒に泣いたり笑ったりと、思いを共感する等、関係作りに努めている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族の状況や、ご本人様との関係性を把握し、最良と思われる方法、関係作りの援助をしている。(たまには、聞き役に徹し、思いを受け止め共感する事により、コミュニケーションを図っている。)</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前に習慣にしていた事や、楽しみ等を継続して頂ける様、援助をしている。(友人との外出、食事会、自宅の草引き、喫茶店など、その都度、ご友人やご家族、スタッフ等で対応している)</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>女学校時代の友人達との食事会に出かけられる利用者があり、友人の方がタクシーで送り迎えしてくださっている。ご自宅のご近所に住んでおられた方が訪問して下さることもあり、お正月には一緒に外出もされた。以前から行きつけの美容室に、職員が送迎したりご家族と一緒に出かけの方もおられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者間の相性等も配慮し、席の位置を工夫したり、適宜スタッフが介入したりと、トラブル回避に努めると共に、一緒にレクリエーションをしたり、いりこを拵えたり、干し柿を作ったりと、1つの事を、一緒に出来るような工夫も行っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後の落ち着き先や、その後の近況伺いをお電話させて頂いたり、他施設へご本人の面会に伺ったり、買い物等で、ご家族様にお見かけした時には、お声を掛けさせて頂いて、先方からも声を掛けて頂きやすい様な、関係作りに努めている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者様ご本人がどうしたいか? どう在りたいか? を日々のかかわりの中で傾聴し、把握する事により、ご本人の思いを最優先で、どうすれば可能か? をスタッフ間で考え、可能な限り対応している。(場合によっては、家族様にもお願いしている。)	
			(外部評価) 利用者との日頃の会話やコミュニケーションの中から、ご本人のご希望や思い等を探っておられる。お誕生日には、ご家族も招待して赤飯やおすし等、ご本人のご希望のメニューでお祝いされている。	職員は、利用者のことをよく知っておられる。職員が日々得た利用者の情報を蓄積して、個々の思いや意向を職員で共有し、よりご本人主体のケアを提供できるよう、介護計画につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人にお話を伺うと共に、ご家族様にもお話を伺い、どの様な生活をされていたか、趣味や嗜好品、性格などの把握に努めている。(嗜好品は、特に制限せず、アルコール・タバコも可能)	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 常に、個々の状態を把握し、心身の状況に応じた臨機応変の対応を行っている。(11月からは、業務日誌を改善し、その方のケアのポイントを書くようにしている)	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご本人の思い、ご家族様の思いを事前に伺い、ご本人が自分らしく暮らせる事を、一番に考え必要な関係者と、話し合い作成している。(ケアカンファレンスとして独立してなく、ミーティング等を利用している)</p> <p>(外部評価) 介護計画の見直しは、利用開始後は1ヶ月、その後は3~6ヶ月毎に、利用者の状況に応じて行われている。業務日誌の中に、介護計画に沿った利用者個々の「本日のケアポイント」が挙げられており、利用者に役割を持ってもらったり、コミュニケーションを取って笑顔を引き出す等、具体的な支援内容を示して全職員で取り組めるようにされていた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々、個々の記録を残している。また、ケアプランには、その日のケアポイントにはPを項目に付けて記入するよう指導している。(中々、徹底できていない現状があるが、根気よく声掛けしている)</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) グループホームと同じ建物に、居宅支援事業所と通所介護があり、適宜交流を行っている。(居宅ケアマネやデイ管理者にも適宜意見を求めている)</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域行事や、ホーム行事での交流により、地域住民と利用者様の馴染みの関係作りに努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) 経営母体が内科クリニックであるが、ご本人ご家族様の 希望を尊重している。また、適切な医療が受けられ るよう、適宜クリニックDrが、他の医療機関を紹介 して下さり、紹介状なども書いてくれている。</p> <p>(外部評価) ご本人ご家族の希望等で、すべての利用者が法人の医 療機関にかかっておられる。毎週木曜日・土曜日の午 後に往診して下さるようになっており、緊急時は、 24時間対応が可能である。歯科は、訪問歯科を利用さ れている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 現在、スタッフに看護職員はいないが、経営母体のク リニックに、随時連絡し指示を受けている。必要に応 じてNSの協力も得られている。(階下のデイサービ スには、NSがおり適宜協力を得ている)</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 必要に応じて、行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入所契約時に、看取りの希望も確認している。また、 適切なケアが出来る様、常にDrと連絡を取り、状態 の変化に応じて、再度家族様の意向を伺い、最適な方 針を決めている。スタッフ間では、送りノートや ミーティングを通し、周知徹底を行っている。(必要 に応じて、NSの待機、協力の話し合いが出来てい る)</p> <p>(外部評価) 利用開始時には、利用者、ご家族に事業所で最期まで 支援できることを説明されており、ほぼ全員の利用者 が事業所で最期を送りたいと希望されている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ホーム内研修や、外部研修に参加し応急処置の手順などの勉強を継続している。また、避難訓練時などに消防隊員に教えてもらうなどしている。(Drへも随時指導、支持を頂いている)	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回の避難訓練には地域住民も参加して下さり、実際に非難の練習や方法を共に見付けている。また、運営推進会議に図り、地域の避難場所の把握や、緊急連絡網へ組み入れて貰う等している。また、地域防災会役員の名簿や、地域の地図等の配布も受けている。(防災会役員に、事業所理事長も加わっている) (外部評価) 地域の方から「事業所の避難訓練に参加させてほしい」と申し出ていただいたこともあり、ともに訓練を実施された。その際「非常口への矢印をつけたらどうか。」とご意見をいただき、事業所では、避難経路の矢印を大きく表示された。非常階段を使った訓練や、利用者とともに消火器の使い方等も実際に行い学ばれた。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人を尊重した声掛けが実施できている。(特に排泄面では注意を払っている)記録物は、他の利用者様から見えないように工夫し、申し送りも利用者様から離れた場所で行い、且つ個人の氏名は読み上げないようにしている。 (外部評価) 管理者は、職員に利用者のプライドを傷つけないような支援に心がけるようにミーティング等で話しておられる。又、管理者は「利用者の立場だったら自分がどう思うか」と職員に問いかけるようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日頃から、自己決定を促している。例えば朝食は、主食を選べる(パン、米飯、粥)水分は多種用意し、その日の希望を事前に伺っている。また、行事への参加も強制はしない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 起床時間は無く、朝は自由な時間に起きて来られる。(朝食は6時から9時と幅を持たせている)また、入浴などもその方の状態やペースに応じ、回数がまばらである。(毎日、1日置き、3日に1回など)	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 更衣時の衣服が、いつも同じ物にならない様に、タンス内の仕舞い方の工夫や、自己の選択の優先、自力で行えない方の適宜な更衣を配慮している。散髪は、家族様、ご本人様の希望により、行きつけの美容室だったり、スタッフが介助したりしている。(毎朝は、必ず整髪しスタイリング剤も用意している)	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の下拵えを一緒にしたり、季節に応じた食材を使用したり、1日の内に肉、魚類が重複しない様にしたり、好き嫌いを把握して、配膳時に配慮したり、食べたい物を伺って献立に反映させたりしている。また、テーブル拭きや下膳もして頂いている。時には、洗い物もして頂ける。 (外部評価) 朝食は、利用者が起きてきた時間に合わせて用意されており、朝食の主食は、パン、米飯、お粥より選ぶことができるようになっている。滑りにくいランチョンマットを使用されており、利用者はお好きな色を選んで敷いておられた。調査訪問時の昼食では、食材の下ごしらえをされている利用者も見られた。食後は、ご自分の食器を重ねられたり、テーブルを拭かれる利用者の様子がうかがえた。おやつ時の飲み物は好きなものを選ぶことができるようになっており、季節に応じ、夏場はグリーンティやカルピス、冬場はしょうが湯等も人気のようである。	食事一連の流れの中で、「食事を楽しむことのできる支援」に向けて、利用者一人ひとりのできることやできそうなことを探り、ご本人の力を発揮できるような場面を増やしていかれてほしい。支援に工夫できないことがないか、話し合う機会にされてみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎回、食事量をチェックし記録している。また、必要に応じてエンシュア等の高カロリー補助食や、食形態を工夫したりお粥にチーズや卵を入れる等の工夫をしている。また、水分は1,500cc確保を目安に、提供したり促したりしている。(夏場は、1,500cc~2,000cc)必要に応じてチェック表も付けている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを行っている。(週2回の義歯消毒を実施している)状態に応じて、ブラッシングのみや、口腔ケア用品で対応している)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を付け、個々のペースにあった声掛けや、誘導を行って、なるべくトイレでの排泄ができる様に支援している。(入居後、自立できた方、布のパンツに変更できた方などが居られる) (外部評価) 職員の声かけや誘導でトイレで排泄できるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 野菜などの繊維質を、献立に取り入れたり、水分の補給に留意したり、適度な運動をして頂いたり、2,3日に1回はヨーグルトをお出しする等、予防に努めている。また、個々の排便リズムを把握し、便秘が長引かないように配慮している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 日曜日以外は入浴があり、希望に応じて、毎日、1日置き、3日に1回など個々に応じた回数となっている。(また、体調等で、続けて入浴できない時は、清拭を行っている。) (外部評価) 午後が入浴時間となっている。入浴剤を使用し、入浴を好まれない方には、お湯の色をきっかけにしてお誘いすることもある。利用者によっては、足浴をしながら「ミストシャワー」を使用することもある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々の状態に応じて、午睡や休息の時間を作ったり、日中の活動を心掛け、安眠できる様に配慮している。(冬場では、希望に応じて、湯たんぽを入れる等している)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬状に目を通し、薬の内容を把握するようにしている。服薬内容の変更時には、日誌や送りノート等で、速やかに全スタッフに伝達し、服薬後の状態などの観察や、Drへの上申を行っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の得意な分野を把握し、台所仕事や繕い物、洗濯物畳み等を提供し、生活に張りが持てるようにしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候の良い日には、近くの神社へお参りに出掛けたり、食材の買出しにスーパーへ一緒したり、月に1~3回程度喫茶店へ出掛けたりしている。(個々の状態や経済状況による)また、季節の花見や、外食時にはご家族様もお誘いし、一緒に出掛けるなどしている。	
			(外部評価) 近くの公園へ散歩や池の鯉にえさをやりに出かけることもある。11月は、奥道後の菊花展に全員で出かけられた。時には、近くの居酒屋で生ビールや焼酎を楽しむ利用者もある。利用者のお気に入りの見晴らしのよいカフェにも出かけておられ、オーナーの方が利用者の車椅子を押して下さることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には、ホームでお預かりし、管理している。収支は必ず小遣い帳に記入し、レシートの貼付、2ヶ月毎に締めご家族様に、確認して頂きサインか印を頂いている。(欲しい物は自由に購入でき、小額を自分で管理されている方もいる)	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば、いつでも電話できる。ご本人がダイヤル出来ない時は、援助している。また、はがきや、手紙など自由に遣り取りできる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>毎月、玄関の壁やカレンダーを、季節に応じて交換したりし、季節のお花を飾ったりしている。時季に応じ、扇風機や加湿器、コタツなども出している。（今年から、空気清浄機を置いた）光などはカーテンや蛍光灯などで調節している。トイレのコール音が大きいのが、利用者の方は気にならないとの事。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間の窓からは畑や山々を眺められる。利用者と職員で作ったかやぶき屋根の冬景色の壁画が飾られていた。管理者は、愛犬を連れて来られることもあり、利用者は「チロちゃん」と呼んで餌をあげたり、抱っこしたりされていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>マッサージチェアを利用したり、ソファで寛がれたり、コタツに温まったりできる。また、エレベーターホールにも椅子を置き、自由に座れる。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ベッドやタンスはホームでも用意しているが、使い慣れた物で希望があれば、持ち込みは可能である。また、ベッド、タンスの配置は、個々の希望に応じて変更している。寝具は、個人で馴染みの物を用意して頂いている。他に、椅子やミニテーブル、テレビ、扇風機等自由に持って来て頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員から贈った誕生日の色紙を飾っておられたり、ひ孫さんの写真や友人の方からいただいた手作りの小物を飾っておられる方もあった。寝巻をたたんでベッドに置いてある方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>個々の能力に応じ、出来るだけご自分でして頂き、見守りのみ行い、手を出し過ぎない様にしている。また、建物はバリアフリーになっており、行動を制限しない様にしている。特に、自発的にされた事は、静止せず適宜付き添ったり、見守ったりしている。</p>	